



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

広域農業基盤整備管理調査

大野川上流地区用水需給調査検討業務

# 積算書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所



















事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S63003	準備作業		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師(C)	4.000	人	40,300	161,200	
	合 計				667,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		667,800	
*** S単-2号 ***						
S63003	受益面積の整理		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	18.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	6.000	人	59,600	357,600	
R04005	技師(B)	10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)	15.000	人	40,300	604,500	
R04007	技術員	18.000	人	36,100	649,800	
	合 計				2,297,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,297,600	
*** S単-3号 ***						
S63003	営農計画の策定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	5.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	5.000	人	59,600	298,000	
R04005	技師(B)	8.000	人	48,500	388,000	
R04006	技師(C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	12.000	人	36,100	433,200	
	合 計				1,656,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,656,000	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単- 4号 ***					
S63003	費用対効果の策定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	25.00人				
	7)技術員の人数	20.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	334,500	
R04004	技師 (A)	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師 (C)	25.000	人	40,300	1,007,500	
R04007	技術員	20.000	人	36,100	722,000	
	合計				3,387,500	算出数量 1,000 式
	単 価		式		3,387,500	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	水収支検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	401,400	
R04004	技師 (A)	12.000	人	59,600	715,200	
R04005	技師 (B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師 (C)	15.000	人	40,300	604,500	
R04007	技術員	12.000	人	36,100	433,200	
	合計				2,881,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		2,881,800	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	計画基準年の検討と用水計画の取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	133,800	
R04004	技師 (A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師 (B)	4.000	人	48,500	194,000	
R04006	技師 (C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				795,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		795,400	
	*** S単-7号 ***					
S63003	用水計画の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	6.000	人	59,600	357,600	
R04005	技師(B)	10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師(C)	8.000	人	40,300	322,400	
R04007	技術員	6.000	人	36,100	216,600	
	合計				1,582,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,582,300	
	*** S単-8号 ***					
S63003	河川協議書案の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	8.00人				
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	20.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	8.000	人	66,900	535,200	
R04004	技師(A)	15.000	人	59,600	894,000	
R04005	技師(B)	20.000	人	48,500	970,000	
R04006	技師(C)	15.000	人	40,300	604,500	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合計				3,364,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		3,364,700	
	*** S単-9号 ***					
S63003	事業費算定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)主任技術者の人数	0.00人				豪雪補正:なし 亜熱帯補正:なし 基本給時間:8.0 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				237,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		237,200	
	*** S単- 10号 ***					
S63003	事業計画書(案)の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	5.00人				
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	25.00人				
	7)技術員の数	10.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	66,900	334,500	
R04004	技師(A)	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師(B)	15.000	人	48,500	727,500	
R04006	技師(C)	25.000	人	40,300	1,007,500	
R04007	技術員	10.000	人	36,100	361,000	
	合計				3,026,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		3,026,500	
	*** S単- 11号 ***					
S63003	維持管理計画書(案)等の作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
	合計				237,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		237,200	
	*** S単- 12号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)					時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0
	1)主任技術者の人数	0.00人				制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	3.00人				
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	6.000	人	48,500	291,000	
R04006	技師(C)	6.000	人	40,300	241,800	
	合計				971,900	算出数量 1.000 式

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		971,900	
	*** S単- 13号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00日, 0.5日, 0.46日					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	日					豪雪補正: なし 亜熱帯補正: なし 基本給時間: 8.0 超勤時間: 0.0
	1) 設計工種	一般工種				深夜時間: 0.0
	2) 打合せ	着手前・最終				
	3) 設計用主任技師人数	1.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.460日				
R04003	主任技師	0.960	人	66,900	64,224	
R04004	技師 (A)	0.960	人	59,600	57,216	
	合 計				121,440	算出数量 1.000 回
	単 価		回		121,440	
	*** S単- 14号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.46日					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 設計工種	一般工種				豪雪補正: なし 亜熱帯補正: なし 基本給時間: 8.0 超勤時間: 0.0
	2) 打合せ	中間				深夜時間: 0.0
	3) 設計用主任技師人数	0.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.460日				
R04004	技師 (A)	0.960	人	59,600	57,216	
R04005	技師 (B)	0.960	人	48,500	46,560	
	合 計				103,776	算出数量 1.000 回
	単 価		回		103,776	
	*** S単- 15号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 着手前・最終, 通勤により打合せ, ライトバン, 1日, 4時間					時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務				豪雪補正: なし 亜熱帯補正: なし 基本給時間: 8.0 超勤時間: 0.0
	2) 打合せ内容	着手前・最終				深夜時間: 0.0
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.46日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	ライトバン				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) ライトバン使用日数	1日				
	17) 時間区分	4時間				
	18) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
M28121	ライトバン[カワサキエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	166	1,793	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	大野川上流地区用水需給調査検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				3,753	算出数量 1,000 回
	単価		回		3,753	
	*** S単一 16号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 中間, 通勤により打合せ, ライトバン, 1 日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務				
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.46日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	ライトバン				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	0円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) ライトバン使用日数	1日				
	17) 時間区分	4時間				
	18) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
M28121	ライトバン[カ°リソエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1,000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10,800	L	166	1,793	
	合計				3,753	算出数量 1,000 回
	単価		回		3,753	

令和7年度広域農業基盤整備管理調査  
大野川上流地区用水需給調査検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

(適用範囲)

### 第 1-1 条

令和7年度広域農業基盤整備管理調査大野川上流地区用水需給調査検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

### 第 1-2 条

本業務は、国営大野川上流土地改良事業で造成された大蘇ダム浸透抑制対策工の効果検証の一環として、本地区の用水需給等の調査検討を行うものである。

(場所)

### 第 1-3 条

本業務において対象とする場所は、熊本県阿蘇市、阿蘇郡産山村及び大分県竹田市地内で、別紙位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

### 第 1-4 条

作業実施のための土地への立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

### 第 1-5 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までには提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ①審査項目 a) ～c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ②審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④業務成果品のミス、不備等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進歩を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-7条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する 学術部門	－
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	－

(担当技術者)

第1-8条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-9条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。  
なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1-10 条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(設計条件)

第2-1条

本業務は、本地区の受益範囲（かんがい面積 1,865ha、うち水田 767ha、畑 1,098ha）を対象とする。

(適用する図書)

第2-2条

本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年
1	土地改良事業計画設計基準 計画 農業用水 (水田)	(社)農業土木学会	平成22年7月
2	土地改良事業計画設計基準 計画 農業用水 (畑)	(社)農業土木学会	平成27年5月

(参考図書)

第2-3条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業 計画研究会	平成15年8月
2	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(社)農業土木事業協会	平成5年3月

(貸与資料等)

第 2-4 条

貸与資料は次表のとおりである。

分類	資料名	数量
設計関係資料	平成 26 年度大野川上流農業水利事業 事業計画書等資料作成業務 報告書	1 式
”	平成 27 年度大野川上流農業水利事業 計画変更資料作成その他業務 報告書	1 式
”	令和 2 年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区大蘇ダム地下水状況等調査検討業務 報告書	1 式
”	令和 3 年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区用水需給検討業務 報告書	1 式
”	令和 5 年度国営造成施設緊急整備対策調査 大野川上流地区用水需給調査検討業務 報告書	1 式
”	令和 6 年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区用水需給調査検討業務 報告書	1 式
その他	国営大野川上流土地改良事業変更計画書 (第 3 回)	1 式
”	大野川上流農業水利事業事業成績書	1 式
”	国営大野川上流農業水利事業事業誌	1 式
”	河川協議書 (国営大野川上流土地改良事業) 平成 31 年 3 月同意	1 式
”	大野川上流地区関係施設各種管理月報	1 式
”	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-5 条

第 2-3 条、第 2-4 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

#### 第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりであり、詳細は別紙【作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 受益面積の整理	1式	
3. 営農計画の策定	1式	
4. 費用対効果の算定	1式	
5. 水収支検討	1式	
6. 計画基準年の検討と用水計画案の取りまとめ	1式	
7. 用水計画の検討	1式	
8. 河川協議書案の作成	1式	
9. 事業費算定	1式	
10. 事業計画書(案)の作成	1式	
11. 維持管理計画書(案)等の作成	1式	
12. 点検取りまとめ	1式	

(作業の留意点)

#### 第3-2条

作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

## 第4章 打合せ

(打合せ)

### 第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- 初回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ（受益面積整理段階）
- 第3回 中間打合せ（営農計画検討段階）
- 第4回 中間打合せ（用水計画検討段階）
- 第5回 中間打合せ（河川協議書案作成段階）
- 第6回 中間打合せ（費用対効果検討段階）
- 第7回 中間打合せ（事業計画書案作成段階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

(成果物)

### 第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部

(成果物の提出先)

### 第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

- 熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿 2084-5（大蘇ダム管理所）
- 九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 大蘇ダム管理所駐在

## 第6章 契約変更

(契約変更)

### 第6-1条

業務請負契約書第 17 条から第 20 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第 3-1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第 4-1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第 5-1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

## 第 7 章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第 7-1 条

この見積仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容
1. 準備作業	国営大野川上流土地改良事業変更計画書（第3回）、現行河川協議図書（現行水利権）における用水計画及び令和6年度の水収支検討について、貸与資料を基に内容を把握し整理する。また、現計画受益面積1,865haについて、現計画の地図情報（シェープファイル）及び一定地域データベースを基に内容を把握する。
2. 受益面積の整理	
2-1. 土地権利者数の整理	令和6年度業務で更新した台帳情報を基に、所有者及び3条資格者の確認に必要な死亡者、相続者及び共有地等情報の確認用リストを作成する。また、所有者及び3条資格者の確認結果を、一定地域データベースに反映し、土地権利者（所有者、3条資格者）の集計を行う。
2-2. 土地所有状況データベースシステムの更新	対象受益について、過年度に作成した同意徴集のための「土地所有状況データベースシステム」に整理結果を反映させる。（図面の整理はシェープファイル形式で行う。）
3. 営農計画の策定	
3-1. 地域農業の概要の整理	統計資料等により、関係市村における地域農業の現状を整理する。関係機関の農業振興計画等により、地域農業の振興状況、基本方針、課題を整理する。
3-2. 土地利用計画の策定	関係市村の作付実績等により、現況の土地利用（作物別作付面積）を策定する。関係機関の農業振興計画等により土地利用計画見直しの必要性を検証するとともに、土地利用計画を取りまとめる。
3-3. 経営計画の策定	上記の土地利用計画及び関係機関の農業振興計画等により、営農類型を策定する。作物別・営農類型別の最新諸元を基に、経営計画を策定する。
4. 費用対効果の算定	
4-1. 総費用の算定	発注者が貸与する費用対効果算定書（第3回変更）をもとに、発注者が貸与する事業成績書等による事業費、関係機関による県営事業費等を踏まえ、総費用を算定する。
4-2. 経済効果の算定	上記の営農計画及び作物単収・単価等の最新諸元を基に、以下の経済効果を算定する。 費用対効果算定書（第3回変更）で算定している効果（作物生産効果、品質向上効果、営農経費節減効果、維持管理費節減効果、地籍確定効果、水源かん養効果、国産農産物安定供給効果）。 上記以外の新たな効果を検討する。
4-3. 総費用総便益比の算定	上記の総費用及び経済効果を基に、総費用総便益比を算定する。

作業項目	作業内容						
5. 水収支検討							
5-1. 水収支計算の実施	<p>大蘇ダム浸透量（貸与する簡易浸透式により貯水位毎の浸透量を算出）を考慮し、以下のケースにて水収支計算を実施し、大蘇ダム貯留曲線を整理のうえ、影響度合いの検討を行う。</p> <p>計算期間は、昭和38年度～令和5年度とし、大蘇ダム及び平川頭首工の河川流量は、平成17年2月以降は実測流量を採用する。</p> <table border="1" data-bbox="603 566 1385 824"> <thead> <tr> <th data-bbox="603 566 802 611">検討ケース</th> <th data-bbox="802 566 1385 611">検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="603 611 802 741">ケース①</td> <td data-bbox="802 611 1385 741">新たな水源として、既設ポンプ利用、井戸利用及び貯水池上流の流況改善を考慮した組合せ案（精査）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 741 802 824">ケース②</td> <td data-bbox="802 741 1385 824">ケース①に上記2で整理した受益面積を考慮した案</td> </tr> </tbody> </table>	検討ケース	検討内容	ケース①	新たな水源として、既設ポンプ利用、井戸利用及び貯水池上流の流況改善を考慮した組合せ案（精査）	ケース②	ケース①に上記2で整理した受益面積を考慮した案
検討ケース	検討内容						
ケース①	新たな水源として、既設ポンプ利用、井戸利用及び貯水池上流の流況改善を考慮した組合せ案（精査）						
ケース②	ケース①に上記2で整理した受益面積を考慮した案						
6. 計画基準年の検討と用水計画案の取りまとめ	<p>上記5で実施した水収支計算を基に計画基準年の検討を行う。なお、計画基準年の検討にあたっては、連続水収支計算により算出される1/10確率相当年となる年を基本とするが、年間総取水量、有効雨量、連続干天日数等の指標についても確認し、総合的に検討する。</p> <p>また、水収支計算結果及び計画基準の検討を踏まえ、最良案について用水計画案を取りまとめる。</p>						
7. 用水計画の検討							
7-1. 計画用水系統図の作成	大蘇ダム等水収支計算結果を踏まえ、各幹支線水路、大谷ダム第1幹線水路及び第2幹線水路の区間通水量の算定を行い、計画用水系統図の作成を行う。						
7-2. 施設規模の確認	幹線水路、支線水路、ファームポンド、揚水機及び調圧水槽の各施設について、水理計算、施設規模・能力の検討を実施する。						
8. 河川協議書案の作成							
8-1. 河川協議書案の作成	上記2～3及び5～7に関わる変更協議について、河川協議書案の作成を行う。						
9. 事業費算定	現行の基幹水利施設管理事業の計画等を基に維持管理計画にかかる事業費（維持管理事業費）を取りまとめる。						
10. 事業計画書(案)の作成	貸与資料及び本業務成果等をもとに、土地改良事業計画書（案）及び補足説明資料を作成する。 作成する項目については、「別紙1」を想定している。						
11. 維持管理計画書(案)等の作成	貸与資料及び本業務成果等をもとに、維持管理計画概要書（案）、維持管理計画書（案）及び補足説明資料を作成する。 作成内容は「別紙2」を想定している。						

作業項目	作業内容
12. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。

別紙1\_\_土地改良事業計画（案）の作成に関する構成・作業内容は以下のとおりである。

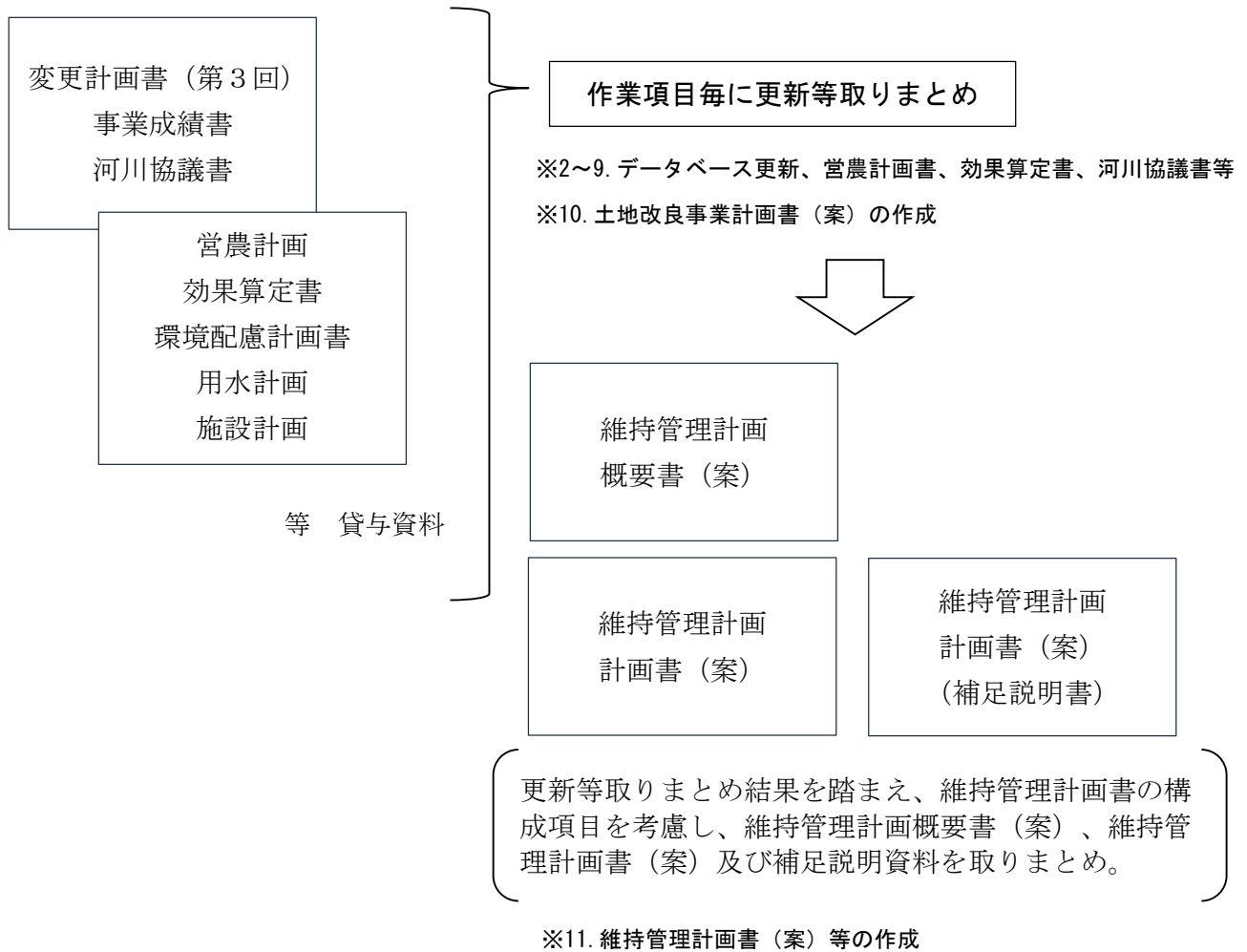
項 目	作成 対象	編集 対象
第1章 地域及び地積		
1 地域		○
2 地積	○	
第2章 地域の現況		
第1節 地形		○
第2節 気象		○
第3節 水利状況	○	
第4節 耕地面積	○	
第3章 維持管理計画		
第1節 目的		○
第2節 かんがい施設関係		○
第3節 排水施設関係		該当なし
第4節 農業用道路その他農地の保全又は利用上必要な施設関係		該当なし
第5節 他の事業との関係		○
第4章 事業費	○	
第5章 効用	○	
第6章 計画図面		○

作成対象：当該業務において土地改良事業計画書(案)及び補足説明資料を作成する。

編集対象：過年度業務等の成果を土地改良事業計画書(案)及び補足説明資料に取り込み編纂する。

「別紙2」

(図) 作業イメージ



○維持管理計画書の構成項目

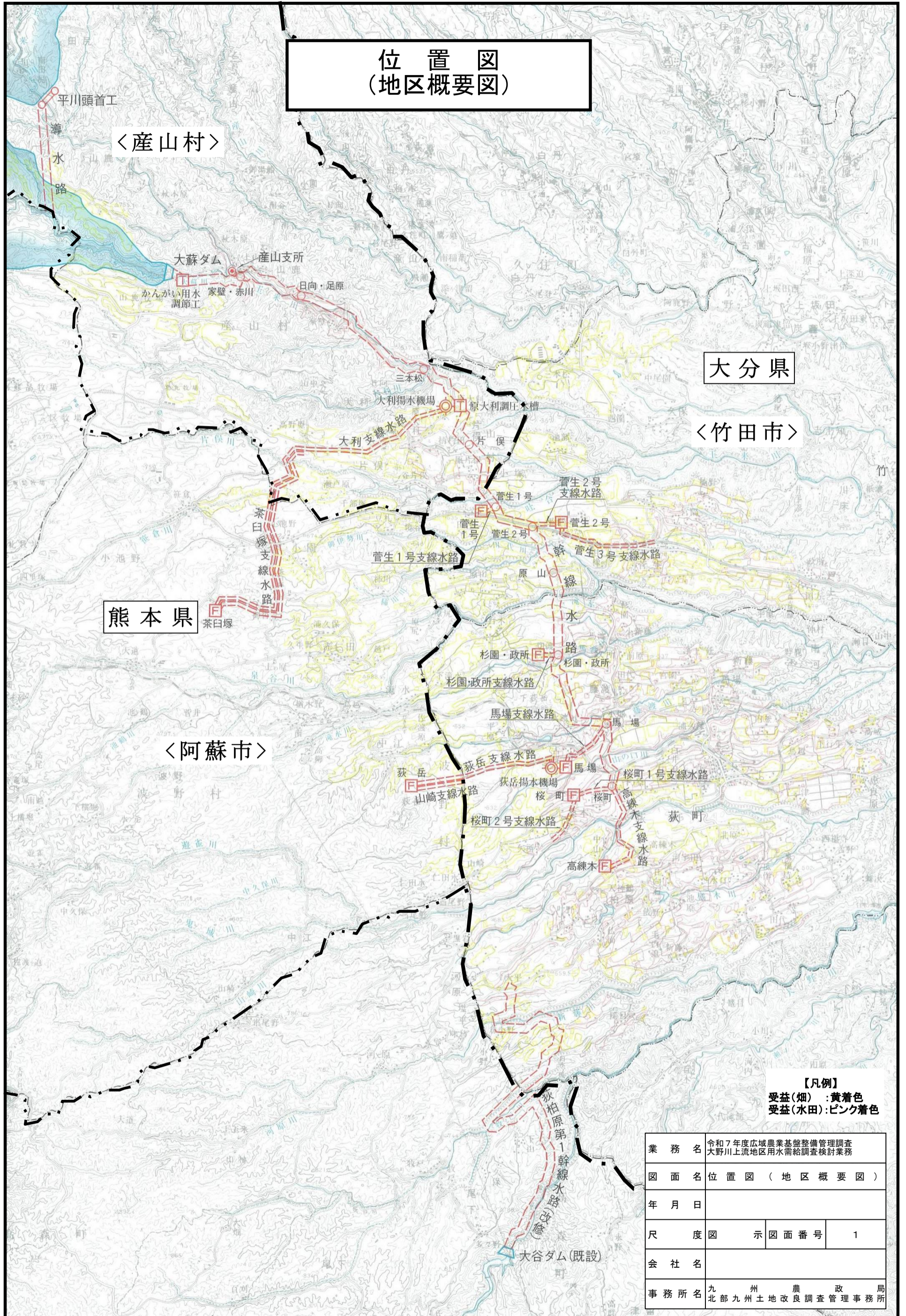
別添「土地改良法に伴う計画樹立について(平成31年2月14日付30農振第2942号)」参照

令和7年度広域農業基盤整備管理調査  
大野川上流地区用水需給調査検討業務

図 面 目 録

番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図（地区概要図）	1	
計		1	

# 位置図 (地区概要図)



〈産山村〉

大分県

〈竹田市〉

熊本県

〈阿蘇市〉

【凡例】  
 受益(畑) : 黄着色  
 受益(水田) : ピンク着色

業務名	令和7年度広域農業基盤整備管理調査 大野川上流地区用水需給調査検討業務		
図面名	位置図(地区概要図)		
年月日			
尺度	図示	図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政事務所 北部九州土地改良調査管理事務所		